

大和の風

【第14号】令和7年11月7日発行

発行者 佐賀市立大和中学校

文責 木村 信人

<https://www.education.saga.jp/hp/yamato-j/>



学校目標:～夢や目標をもち、思いやりの心とチャレンジ精神に満ちあふれた生徒の育成～

第68回 文化発表会・合唱コンクール ～笑顔と感動に包まれた一日～

10月31日(金)、第68回文化発表会・合唱コンクールが行われました。今年のスローガンは「We can make it ～生み出そう 全校生徒の笑顔～」。生徒一人ひとりが力を合わせ、仲間とともに創り上げた笑顔と感動に満ちた一日となりました。

午前のステージ発表では、まず生徒会のオープニングビデオが上映されました。工夫の中にユーモアもあり、これから始まる文化発表会への期待とワクワク感を与えてくれる素敵なお映像でした。続く3年生による大和太鼓は、力強い音が体育館に響き渡り、文化発表会の幕開けにふさわしい迫力とエネルギーを感じました。

吹奏楽部の演奏は、とても迫力があり、素晴らしい演奏でした。息の合ったハーモニーと曲の表情の変化がとても豊かで、聴く人の心を引きつける演奏でした。

劇発表では、1年生の「佐賀のハピオーディション!?」が、歴史をユーモアたっぷりに表現していく、初々しさの中にも堂々とした姿が光っていました。2年生の「棄権」は、考えさせられるテーマを自分たちの言葉でまっすぐに伝えており、表現の力を感じました。3年生の「ホームレス中学生」は、感情のこもった演技で観る人の心を動かし、物語の世界に引き込まれるような完成度の高い舞台でした。

展示発表では、モザイクアートや校外学習レポート、理科・社会の研究、美術部・パソコン部の作品など、どれも生徒の個性と創造力が詰まった力作が並びました。中でも3年生の「最高の卒業式を」や「修学旅行レポート」は、卒業を控えた今の思いが丁寧に表現され、見る人の心を温かくしました。また、理科や社会の自由研究、ピタゴラスイッチの展示、道の駅「ヤマチュー」なども、遊び心と探究心があふれていて、観ていてとても楽しかったです。美術部やパソコン部の作品も、どれも完成度が高く、「文化の力」を感じました。

さらに、ステージ正面のハロウィンを模した看板は、美術部が制作してくれました。もはや「看板」というより、一つの作品として会場の雰囲気を彩る、素晴らしい出来栄えでした。



午後の合唱コンクールでは、どの学年も日々の練習の成果を十分に発揮し、心をひとつにした歌声を響かせました。1年生の元気な歌声、2年生のまとまりある響き、そして3年生のさすが最上級生といえる感動的な歌声が体育館いっぱいに響き渡りました。会場にはたくさんの拍手と笑顔があふれ、まさにスローガンのとおり、生徒全員の力で「笑顔」を生み出した一日となりました。

保護者の皆さまにも多数ご来場いただき、温かい拍手と応援をありがとうございました。生徒たちにとって、この経験が大きな自信と成長につながる一日となりました。

聴く生徒にも、支えた先生や保護者にも温かく届く、まさに「大和の風」そのものの一日となりました。



今後、学校Webや学校だよりでの画像などの掲載で、都合が悪いことがありましたら本校教頭までお電話ください。